



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

平成23年4月26日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会

〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL (0767) 29-8310 (直通)

FAX (0767) 29-4623

■編集

宝達志水町議会

広報編集特別委員会

第24号



宝達川の桜並木 (河原)



■23年第1回定例会 2

■一般質問 (7名) 6

■委員会ノート 10

■TPP交渉に関する意見書 12

■東日本大震災関連 13

■委員会視察報告書 14

■町議会日誌 16

平成23年度予算成立

～保健・福祉・教育の充実と

ふるさと振興を目指して～

総額 131億4,022万8,000円

平成23年
第1回

定例会

3月4日～
3月11日



予算編成の基本方針

- ・ 予算執行の効率化と経費の徹底した節減
- ・ 財政健全化判断比率を見据えた予算編成
- ・ 財政健全化方策の基本理念の堅持
- ・ 第2次行財政改革大綱の着実な実施
- ・ 限られた財源の重点配分

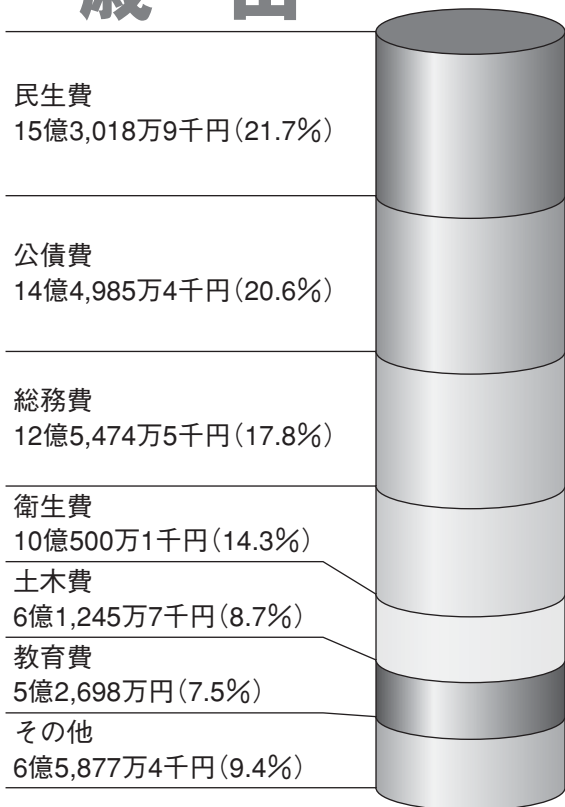
歳入の概要

町税は、地域経済の動向を見極め前年度比7・3%の減、地方交付税については1・5%の増を見込む。

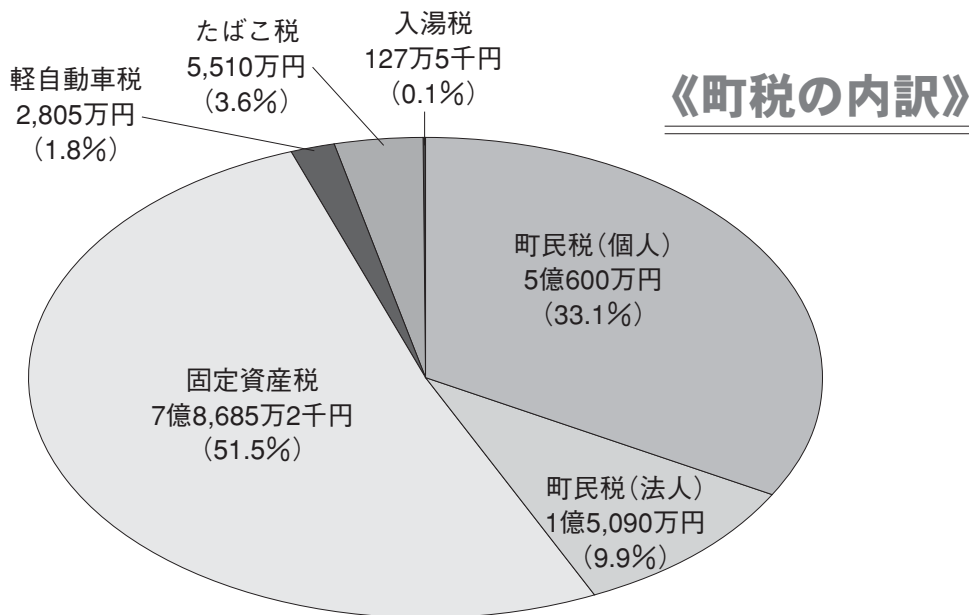
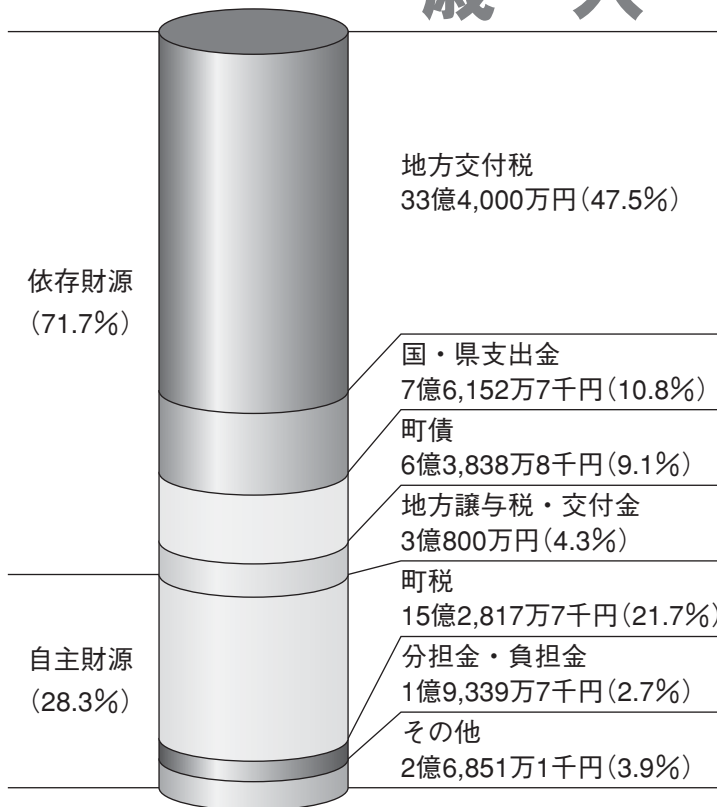
町債は普通建設事業など大型事業の完了や臨時財政対策債の縮減に伴い42・1%の減。繰入金については、財政健全化のため基金から繰入れしない。

一般会計予算 70億3,800万円

歳出



歳入



◎歳出（その他）の内訳

議会費 1億2,354万8千円、労働費 5,510万4千円
 農林水産業費 1億6,232万3千円、災害復旧費 8千円
 商工費 7,458万1千円、消防費 2億2,821万円
 予備費 1,500万円

◎歳入（その他）の内訳

使用料および手数料 8,296万7千円
 諸収入 5,717万8千円、財産収入 346万8千円
 寄附金 89万7千円、繰入金 8,400万1千円
 繰越金 4,000万円

主な事業・施策



予防接種事業

- 新交通政策推進事業費 1944万5000円
- 情報化推進事業費 7298万2000円
- 基金積立金 1億8400万円
- 住民基本台帳ネットワークシステム事業費 3626万2000円
- 若者等定住バックアップ事業費 550万円
- 放課後児童クラブ運営事業費 1221万5000円
- 子ども手当給付事業費 2億8544万4000円
- 賦課徴収事務費 3546万7000円
- ごみ収集事業費 4104万1000円
- 社会福祉事務費 1265万9000円
- 障害者自立支援給付事業費 2億214万2000円
- 地域生活支援事業費 1721万2000円
- 自立支援医療費 865万2000円
- 予防接種事業費 3939万7000円
- 農地制度実施円滑化事業費 597万円
- 農業者戸別所得補償制度推進事業費 400万円
- 県営事業負担金(農林) 3568万6000円
- 企業誘致対策事業費 3027万4000円
- 緊急雇用創出特別事業費 3711万9000円
- ふるさと振興業費 5452万円
- 道路維持管理事業費 2721万4000円



県営事業(散田地区のほ場整備)

- 道路整備事業費 2339万円
- コンピュータ教育事業費 1123万7000円
- 中学校施設整備事業費 300万円
- 岡部家維持管理事業費 468万8000円
- 総合型スポーツクラブ活動費 135万円
- 体育施設管理運営費 3076万1000円
- 道路維持管理事業費 (賛成12人、反対1人) 2721万4000円

◎平成23年度 特別会計予算・事業会計予算

- 国民健康保険特別会計予算
 - 歳入歳出それぞれ15億3840万8000円とするもの
 - (賛成12人、反対1人)
- 後期高齢者医療特別会計予算
 - 歳入歳出それぞれ1億7399万2000円とするもの
 - (賛成12人、反対1人)
- 介護保険特別会計予算
 - 歳入歳出それぞれ14億5466万4000円とするもの
 - (賛成12人、反対1人)
- 国民健康保険直営診療所特別会計予算
 - 歳入歳出それぞれ3495万2000円とするもの
 - (全員賛成)
- ケーブルテレビ事業特別会計予算
 - 歳入歳出それぞれ5890万5000円とするもの
 - (賛成12人、反対1人)
- 水道事業会計予算
 - 収益的収入 3億4752万4000円
 - 収益的支出 3億5320万5000円
 - 資本的収入 243万円
 - 資本的支出 1億2244万8000円とするもの
 - 老朽管布設替費 3500万円
 - 配水設備改良費 1273万6000円
 - 浄水施設改良費 556万5000円
 - (賛成12人、反対1人)
- 下水道事業会計予算
 - 収益的収入および支出 それぞれ6億2325万9000円
 - 資本的収入 2億1816万8000円
 - 資本的支出 4億8817万9000円とするもの
 - 施設更新対策 1155万円
 - 管路および施設更新対策 5250万円
 - (賛成12人、反対1人)
- 国民健康保険志雄病院事業会計予算
 - 収益的収入および支出 それぞれ1億1065万円
 - 資本的収入 7010万1000円
 - 資本的支出 1億4356万6000円とするもの
 - (全員賛成)

◎平成22年度補正予算関係

○一般会計補正予算(第8号)
歳入歳出それぞれ2773万1000円を増額し8億7422万8000円とするもの

(全員賛成)

○ほか、次の平成22年度

各会計補正予算7件

・国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

・後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

・介護保険特別会計補正予算(第5号)

(第5号)

・ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第3号)

・水道事業会計補正予算(第4号)

・下水道事業特別会計補正予算(第2号)

・国民健康保険志雄病院事業会計補正予算(第1号)

(いずれも全員賛成)

◎平成22年度補正予算関係 (専決)

○一般会計補正予算(第7号)

(全員承認)

◎条例関係

○町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

○宝達志水町一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

(賛成12人、反対1人)

○宝達志水町行政財産使用料条例

(全員賛成)

○宝達志水町保育所条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

○宝達志水町子育て支援センター設置条例の一部を改正する条例

(全員賛成)



町内2番目の「子育て支援センターどんぐり」が新設された相見保育所

○宝達志水町立在宅介護支援センター条例を廃止する条例

(全員賛成)

○宝達志水町文化財施設条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

◎町道関係

○町道路線の認定

(全員賛成)



町道に認定された上田10号線

◎請願

○PPP交渉に関する請願書

(全員採択)

◎議会議案

○PPP交渉に関する意見書

(全員賛成)

◎人事案件

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて



宝達志水町子浦 志尾明男(53歳)



宝達志水町出浜 宇野哲(64歳)



宝達志水町菅原 國井勤(61歳)

(いずれも全員賛成)

第2回臨時会

1月19日

○一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億3481万8000円を増額するもの

歳入

・地方交付税

26002万2000円

・国庫補助金

1億879万6000円

(きめ細かな交付金、住民生活に光りをそそぐ交付金)

歳出

・民生費

2957万円

・(要援護者支援事業費など)

衛生費

628万1000円

・(医療機器・福祉用具等整備事業費など)

土木費

8700万円

・(公共施設等整備事業費など)

教育費

1196万7000円

・(小学校施設整備事業費、図書館図書等購入費など)

(全員賛成)

(全員賛成)

町政を問う

質問

いつぱん

集落からの要望事項 への回答は

土上 猛議員



などに問題があり、土地と建物を一括して速やかに売却したい。

②所管課で要望の内容を聞き、現地確認などにより、緊急性や効果の高いものから、対応している。

問
①旧加能繊維の跡地（柳瀬）利用計画について。
②集落、各種団体からの要望事項の取り扱いについて。

答町長

①工場誘致用地として、平成14年に取得し、柳瀬第二工場適地として企業立地を推奨してきた。

自主財源の確保の観点からも、遊休財産の売却促進に向け、企業誘致活動についても積極的に進めたい。

砂の採取や建物の取り壊し



今後でもできる限り、集落の要望を取り入れ予算化をして、事業を実施するよう努力する。

平成19年度以降の要望には、予算のこともあり、いつ実施できるかなど、詳細な回答はしていない。
平成22年度から負担率を変更したため、改めて要望を出し直してもらうこととしている。

町民が融和できる イベント開催を

守田幸則議員



ろって参加できるようなイベントを実施するなどしており、今まで以上に、町民の融和が進むよう取り組む。

オムライスの郷の取り組みは、目標を一つにし、住民の融和を図る有効な施策の一つではないかと思う。

問
①町民融和へのイベント開催、オムライスの郷プロジェクトについて。
②道の駅の取り組みについて。

答町長

①合併したが、いまだに、旧町単位で物事を考えていると聞くことがある。このような

状況を払拭するには、旧町の垣根を取り払った町全体が一つになれるイベント開催も一つの手法だと思う。

健康まつりにニユースポーツコーナーを設けて、家族そ

答ふるさと振興室長

①オムライスを宝達志水町の名物として情報発信し、一次産業と観光産業の両方を活性化したい。



町民憲章の普及・推進を

寶達典久議員



本町の特性を織り込んで精神面を表現したすぐれたもので、今後も積極的に普及・推進を図る。
③「観光の振興」を主要施策と位置づけ、サイン整備として、モニュメントや観光案内板を設置する。

問

- ① 国旗掲揚の啓発について。
- ② 町民憲章の普及・推進について。
- ③ 能登有料道路無料化に伴う訪問者の誘導方法について。

答町長

① 日章旗を日本の国旗であるとする慣習が定着して、平成11年8月の国旗・国家法の成立に至ったものと認識しており、大切なものである。
② 町民憲章を制定後、町広報やホームページにその内容を掲載し、町民に知らせてきた。

答教育長

① 入学式、卒業式、運動会などで、国旗を掲揚し、国旗に敬意を表し、国歌を斉唱して、国の象徴として、敬意を払うという教育を行っている。
② 立志式や成人式の節目の時に唱和して、町の目標について考える機会を設けている。



避難場所は各災害に応じているか

久保喜六議員



これまでの結果を踏まえ、どのようなことをすれば、より効果上がるかを検討していきたい。

問

- ① 災害時の避難場所と避難施設について。
- ② 行政支援の結婚応援、婚活イベントについて。

答町長

① 統合や閉鎖した施設があるので、指定の見直しを行っている。
② 町としては、平成18年には、羽咋市などが主催の事業。平成19年には、町商工会の異業種グループの「ジュッカイ」といしかわ子育て支援財団が主催の事業に協力した。



答環境安全課長

① 災害時には、一度に多数の避難民を受け入れることができる学校の体育館をはじめとする町有施設を指定している。耐震構造を満たさない施設は、土砂災害時など限定して使用したい。
施設の想定収容人数は、1人あたり概ね2㎡の専有面積として換算している。
山間部、小さな集落などに

は、各地区の会館や集会所を応急的な避難施設とすることを想定している。
避難経路については、災害がどこに発生し、また、どの経路が安全か予測困難なため、一義的な避難経路は定めず、地区の防災士や消防団などの協力を求めている。

答健康福祉課長

① 障害者や高齢者等が災害時の支援を地域の中で受けられるように、関係機関や避難支援者への情報提供のため、災害時要援護者台帳を作成した。



町指定避難場所のひとつ 志雄小学校

行財政改革の進捗状況の公開を

柴田 捷議員



大綱の実施にあたっての情報は、各地区で開催する町政懇談会や各種団体等との懇談の場で提供し、進捗状況は、町の広報、ホームページ等の媒体を活用し公開する。

- 問**
- ① 行財政改革について。
 - ② ふるさと振興事業について。
 - ③ 地域農業再生協議会について。

答町長

① 第2次行財政改革大綱は、平成23年度から5年間で実施する。

町行財政改革審議会からの答申に添えられた5項目の附帯意見は、行財政改革を実施していくうえで、大変重要で、かつ貴重な意見であると受け止めている。

組織の見直しは、町民に混乱を与えることが予想されるが、縦割りの壁を取り除く組織改正を進めながら、町民へ満足度の高いサービスが提供できるよう整備することが重要と考えている。

② 宝達山に訪れた観光客に、不快な気持ちを与えない整備や修理が必要と思っている。

桜祭りは、現在、見送られているが、地域の活性化、住民の融和、ふるさと振興を進めるうえで、本町の花である桜をテーマとしたイベント等の開催は必要と思う。あり方としては、



行政主導でなく、町民の皆さんが中心となって創意工夫を凝らし、開催していくことが望ましいと考える。

答産業振興課長

③ 地域農業再生協議会の主な業務は、水稲減反の生産数量の調整、転作した農家への助成を行う事務手続き、認定農業者・集落営農組織の支援や耕作放棄地再生利用の相談窓口である。

町内の農家の声を反映するため町主導の組織とした。

戸別所得補償等の申請や農地利用の相談窓口を一カ所に統合することで、町、農業経営者等にメリットがあると考

答ふるさと振興室長

② オムライスの郷プロジェクトは、町内の8店舗が参加、今後店舗数をどう増やすかが課題である。

「宝達山の日」は広報不足などが課題となり、これを反省点として「宝達山マンスリ12011」と名前を改め開催する。

文化財の今後の取り組みは

宮本 満議員



ぼしているとの情報は無い。宝達山登山口にあがっている煙は、くん炭の製造によるもの。平成20年度から製造を開始しており、区の了解と土地所有者の承諾を得て行なっている。

- 問**
- ① 雪害について。
 - ② 環境問題について。
 - ③ 文化財について。
 - ④ 観光地づくりについて。

答町長

① 今年1月の大雪での家屋の倒壊などの被害は無い。

② 広域農道で、動物と車が接触したと思われるものが数件あり、事故を防止するため「小動物に注意」等の看板を早急に設置したい。

農道の開通により、小動物が里に下り農作物に被害を及

動植物の生態系の異変や害の調査はしていないが、必要があれば関係機関の指導を仰ぐ。

答生涯学習課長補佐

③ 喜多家の今年度1月末の入場者数は、1917人。

なお入場料金は、近隣市町村の文化施設入場料を参考に算出され、町文化施設条例に定められた大人500円、



↑茅葺き入母屋造りの外観

前田家から拝領した矢屏風→
が展示されている奥座敷

保存修理が完了した岡部家



子ども2000円、団体割引はそれぞれ1000円引き。
岡部家は平成23年度から公開を行い、他の文化財施設と同じく、地域学習・歴史学習の場として活用を図れるよう取り組んで行きたい。

①国の子宮頸がんワクチンに対する助成対象と同じ、中学一年生から高校一年生とする。
②少子化で教科担任制が維持できなくなり、学力低下を招く心配がある。統合中学校の建設を進め、教育環境の充実

【答】町長

①予防接種事業費について。
②中学校建設について。
③重点分野雇用創出事業予算と奨励条例の創設について。
④住宅リフォーム制度や小規模工事等契約制度について。

【問】



住民投票で中学校合併の是非を

小島昌治議員

①3ワクチン（子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌）接種は、4月から全てに助成する。

【答】健康福祉課長

②町行財政改革審議会の附帯意見は「統合中学校の建設については、住民合意を前提に進めること」で、町長は「新年度予算に反映するなど改革にまい進したい」と伝えた。

を図りたい。
③ブランド化の情報発信で、一次産業振興と知名度を上げることができると考えている。奨励は、国の支援制度を活用してもらうこととする。
④社会資本整備総合交付金事業に係る事業の中で建築物耐震改修促進補助金や住宅新築等奨励金制度を行っている。入札資格者登録のない小規模事業者が元請けできる契約制度は考えていない。

議会を傍聴しませんか

町民の皆さんに議会活動の内容を広く知っていただくために、議会の傍聴をお勧めします。

傍聴する前に、議場入り口で、氏名、住所、年齢の記入をお願いします。

問い合わせ先 議会事務局 TEL29-8310



委員会ノート

〈第1回定例会会期中の審査内容〉

総務産業建設常任委員会

問 デマンドタクシーの実績と収支について。

答 昨年度の利用者数は1100人余り。町の持ち出しは1537万円。

問 利用料金の改定は。

答 平成20年に3000円から5000円に改定し、今は料金改定は考えていない。

問 税の滞納処理で、昨年、県から職員が派遣されていたが、23年度も要望するの

か。

答 税務職員の相互派遣事業は、要望しない。

問 公害対策審議会委員の構成メンバーは。

答 10人以内で、知識経験を有する者、町議会議員、公共的団体の代表者の方で構成

は。

問 古墳の湯の入場者数と収入

は。答 平成22年度2月末で、入場者数は61379人。収入は約2600万円程度。

問 古墳の湯の業務委託してい

る内容は。

答 受付、ボイラー管理、清掃、駐車場周辺の除草、同施設に係る日常業務全般など。

問 水防倉庫の解体は。

答 小川会館近くにある水防倉庫を取り壊し、アステラス横に新たに建設する。



小川会館近くにある水防倉庫

(クリンクルはくい)に持って行くものがある。

問 ごみの量は、年々、増えているのか。

答 一般廃棄物のごみの量は、わずかだが減少傾向。

問 宝達山駐車場のトイレを取り壊したが、仮設トイレなどの設置は。

答 仮設トイレを4基設置。今、冬季の積雪のため撤去してあるが、23年度も仮設トイレを設置する予定。

問 河川の中洲除去および河川

改修の要望数は。

答 二級河川は県の管理であるが、町をとおして約30件、河川改修については16件の要望がある。

問 住民主導型ふるさと振興事

業助成金の4団体というのは、どのような団体を予定しているのか。

答 特定した団体は、決まっていない。

問 旧押水庁舎移転事業の改修工

事費は。

問 旧押水庁舎書庫にある移動式書架を、役場庁舎前の就業改善センターに移転するために要する経費。



旧押水庁舎にある移動式書架

問 各課で電算委託料が予算計

上されているが、契約先は。

答 21年度までは一本化していた。下請けに出すことにより、経費の面がかさむため、今は分割している。



教育厚生常任委員会

問 郵便局ワンストップサービス事業の件数は。

答 今年度は現在22件。昨年度は10件。

問 住基カードの交付状況は。

答 約10年で531件。今年度中の交付は25件。

問 若者等定住バックアップ事業の件数は。

答 今年度は現在2件。昨年度も2件。

問 沢川地区の無料バス補助と入浴料助成の内容は。

答 高岡市営バスの利用に一回100円の10回分を補助。入浴施設「山ぼうし」の利用に一回300円で28回分を助成。

問 管外保育の人数は。

答 羽昨市とかほく市で6人。町外からの受け入れは1人。

問 町給食委員会による学校給

食の試食会は行われているのか。

答 11月2日に樋川小学校で、保護者の代表、学校関係者が集まり開催した。

問 小学校施設管理費の清掃委

員

の

託料と樹木管理委託料の内容は。

答清掃委託は電動ローラーを使用した清掃に係る費用。

樹木管理は、アメリカシロヒトリ防除などの薬剤散布押水第一小学校のJR側の運行に支障をきたすおそれのある桜の枝の伐採など。

問沢川地区の入浴料助成のよ

うに、宝寿荘利用者に無料券を配布できないか。

答宝寿荘は新規に全面改修し

利用料金を2000円に改正。沢川地区は5000円の入浴料に対し3000円の助成。

個人負担は2000円で同じ金額となる。

問宝寿荘の利用者減少は、利

用料金の値上げによるものではないか。調べてみる必要があるのでは。

答利用料金の影響は全く無い

とは言えないが、減少の原因を調べ、今後、利用者を増やすよう努力したい。

問保育所職員の非正規の者を

正規職員にする計画は。答保育所は、順次、指定管理者にしていく予定。町として正規職員にする計画はな

い。

問子育て支援センターの実績は。

答現在、南部保育所で進めており、図書館ともタイアップし、親子で年間約3000人が利用。

問羽咋病院から志賀町方面に

バスが出ているが、当町方面への要望の考えはないのか。

答羽咋郡市医師会から患者を集約すると言われている。今のところ考えはない。

問小学校のエレベーター管理

委託料と警備保安管理料の内容は。

答宝達小学校では給食をエレベーターで2階にあげており、その機器に係る費用。

警備保安管理料は、全小学校で日中・夜間の不審者侵入に備え、警備保障会社へ

委託している費用。

問小学校の給食費を学校ごと

に分けず、一本で予算計上している理由は。

答単価が同じであり、単価に

人数を乗じたもので計算しているため。

問宝達小学校に食堂はできな

いのか。

問今のところ建設の予定はないか。

答北大海第二保育所の取り壊しは、理解を得ているのか。取り壊し、整地することによって理解をいただいている。

問

統廃合により昨年閉所となった北大海第二保育所



統廃合により昨年閉所となった北大海第二保育所

問岡部家の改修工事等で要した

全体の金額は。答岡部家改修工事、管理棟等

建設の工事請負費および設計管理費を合わせて2億1

749万2800円。

問介護保険利用料の減額制度

はあるのか。答宝達志水町介護保険利用者負担額減免取扱要綱を平成

21年3月に制定している。

問在宅介護者への介護慰労金

制度をつくる必要があるのでは。

答現状では考えていない。

病院運営特別委員会

問押水クリニックの今後の運

営は。答患者数は一日診療だった昨

年度より増加。収入も黒字

の予定。当分は半日診療の

方向で考えている。

問志雄病院の医療機械器具整

備は。答オーダリングシステムの導

入が主なもの。あと院内で

使用する通常の医療機器の

購入。

問オーダリングシステムとは。

答患者の待ち時間等の短縮を

考え、検査、画像診断等の

指示を電子化にしていきたい。

最終的に電子カルテ化

を目指し、23年度を含め概

ね3カ年程度の期間を要す

と思う。

問施設整備等の内容は。

答修繕で対応、新規のものは

考えていない。



地域医療を支える志雄病院

問新病院基本構想策定費は。

答志雄病院が、引き続き地域

のなかで、医療を提供でき

るベストな形の在り方が、

今後、問われてくる問題だ

と思う。将来の在り方を検

討し、志雄病院の姿、概略

的なものを構築したいと考

えている。

問設置してあるAEDの電池

の耐用年数および定期点検

は。

答機器の定期点検は業者に委

託。電池の耐用年数は5年

であるが、状態については

安全のため、病院で管理・

点検している。

TPP交渉に関する意見書

政府は、昨年11月9日に「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定し、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉に関して、情報収集を進めながら関係国との協議を開始することとし、さらに13日からのAPEC首脳会議において、アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）実現に向けた道筋のひとつとして、TPPを挙げた。

TPPは、関税撤廃の例外措置を認めない完全な貿易自由化を目指した交渉であり、ひとたびTPPを締結すれば、洪水のごとく農産物が輸入され、日本農業を壊滅へと導くことは必定である。

いかに、農家所得が補償されても、輸入は増大し、国内の生産基盤は崩壊してしまう。

また、農業・食料・運輸等の関連産業も廃業が相次ぎ、地方の雇用が失われてしまうことに繋がる。

これでは「EPA・FTAについては、食の安全・安定供給、食料自給率の向上、国内農業・農村の振興等を損なうことは行わない」という食料・農業・農村基本計画の方針に相反し、国民の圧倒的多数が望む食料自給率の向上や農業のもつ多面的機能の発揮は不可能と言わざるを得ない。

よって、政府におかれては、我が国の国土と農業を守り、食料安全保障を確立するためにも、我が国がTPP交渉に参加することのないよう強く要望する。

議案提出者 中谷浩之 議員

《用語の解説》

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）

シンガポール、チリ、ニュージーランド、ブルネイの4カ国が2006年に発効した貿易自由化を目指す経済連携協定。農産品や工業製品、金融サービスなど、加盟国間で取引される全品目に対して、原則100%関税撤廃をしようというもの。

FTA（自由貿易協定）

特定の国や地域の間にかかる関税や規制を取り払い、物やサービスの流通を自由に行うようにする国際協定。

EPA（経済連携協定）

物流だけでなく、人の移動、投資、競争政策など幅広い分野での連携で、両国または地域間での親密な関係強化を目指す国際協定。



東日本大震災

被災者の方々に心より お見舞い申し上げます。

3月11日午後2時46分頃、太平洋三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生しました。

この地震により引き起こされた想像を絶する大津波は、東日本を中心に甚大な被害をもたらし、多くの尊い命が犠牲となりました。また、今もなお1万人を超える方々が行方不明となっており、私たち日本国民はもとより世界中が深い悲しみに包まれています。

宝達志水町議会は3月17日、東日本大震災の復興や避難生活に役立ててもらおうと、義援金15万円を寄託しました。北本俊一議長から津田達町長に託された義援金は、日本赤十字社石川県支部宝達志水町分区を通じて、被災地に届けられます。

復興には長い年月を要すると思いますが、当町議会がどのような支援を出来るか検討しながら、尽力して行きたいと思っています。

被災者の方々が元気を取り戻せるよう、また被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当町議会では、今後、被災状況の検証により、当町の防災対策の見直しを行い、町民の安心・安全のための取り組みを進めていきます。



委員会視察報告書

各委員会が先進地を訪問

総務産業建設常任委員会・教育厚生常任委員会

岐阜県下呂市 (2月7日、8日)

「姉妹都市交流の促進を合意」

新たな議会組織となったことで、常任委員会が合同で、津田町長の参加を得て、姉妹都市の下呂市を訪問し、交流促進とともに、行政課題への取り組みを視察した。

市役所で、行財政改革については、合併後で第二次の大綱を策定し、交付税の削減、市税の減少に対処するべく、事務・事業・施設等の合理化に取り組んでいる。

施設の統廃合については、学校および給食センター施設が進められており、小学校は15校を7校、中学校は7校を4校、給食センターは5カ所を1カ所とする計画である。

学校施設整備検討委員会から、耐震対策、教育上の観点からの検討との答申をうけ、地元説明会や懇談会を開催し協議した結果、金山地域では

4小学校を統合し金山小学校を耐震工事、小坂地域では湯谷・小坂両校を小坂小学校に統合することとなった。

社会教育施設が32、スポーツ施設が31あり、整理統合を検討している。

次に、下呂市立金山病院の移転新築については、「日本一・ローコスト・高価値の病院づくり」を目指した公募型プロポーザル方式によるもので、設計業者、施工業者を選定し、総事業費が約18億6千万円となり、約2割の経費削減となった。

姉妹都市交流については、議会が率先して交流をすることで合意し、今後は行政、学校などの交流にも力を入れることとした。

視察後に交流会を開催し、下呂市からは市長、副市長、

議長、副議長はじめ議員11名など計14名の出席があった。

この交流会を契機に、今後とも姉妹都市としての友好関係の増強を目指し、取り組むことを再確認した。

翌日は、下呂市が設置した「下呂温泉合掌村」を視察した。近年「合掌の里」「歳時記の森」として改修整備をしている。

以上、姉妹都市である下呂

市の行政・議会・病院・観光などに数多く見聞することができ、今後の当町の行政運営に寄与するところが大きかった。

また、姉妹都市交流の促進についても大きな前進がみられ、大変有意義な視察となった。



下呂市役所下呂庁舎にて

中学校建設特別委員会（2月3日、4日）

愛知県飛鳥村

村立小中一貫教育校 飛鳥学園

中学校建設の参考のため、昨年4月に開校した飛鳥学園を視察した。

小中一貫教育校建設決定は、小学校校舎が耐力度調査の結果、危険校と判断され早急な改築が必要となったため、用地取得委員会、小中一貫校建設委員会での検討、校舎等の設計に係るワークショップの開催を経て、一昨年12月に竣工、昨年1月に仮開校し、4月に正式開校となった。



飛鳥学園「ふれあいホール」にて

施設の特徴は、ランチルールの機能を備えた「ふれあいホール」を校舎の中心に配置、学年ユニットは2クラス分を確保し、きめ細かな学習形態への対応、将来の少人数学級に対応した。

地球環境への配慮として、できるだけ空調施設に頼らず、自然の風と光で過ごせるよう、

高窓に自然換気窓を設置してある。

全ての窓に庇があり、雨の入り込みと夏の陽射を遮っている。

この学園が取り入れた施設構造や設備などの考え方については、今後の中学校建設にあたり大いに参考となるものであった。

病院運営特別委員会（3月14日、15日）

福井県越前町

坂井市 坂井市立三国病院

志雄病院の運営、老朽化・耐震対策のため視察した。

織田病院は、平成10年移転改築、鉄筋コンクリート造、3階建、病床数は55床、救急告示病院であり、医療圏は越前町内である。

福井大学医学部付属病院等と連携し、南越前町へ医師を派遣している。

隣接した保健福祉センターと医療・保健・福祉の融合した地域包括サービスを実施しており、小学校、保育所などと教育・福祉ゾーンを形成している。

単年度の経常収支は黒字で、累積も特別繰入により、黒字となっている。

病児・病後児保育は、福井県の「ふくい3人っ子応援プロジェクト」の補助事業で、役場との委託契約で、病児保

育は病院内で、病後児保育は、隣接の織田保育所で行っており、年間実績は少人数である。

外来患者は、コミュニティバスによる通院が主である。

黒字ではあるが、医師等の確保が困難なため、平成24年4月には指定管理者制度を導入する予定である。



織田病院にて

三国病院は、平成18年移転改築、鉄筋コンクリート造、4階建、病床数は105床、合併前の三国町で施工、合併後に開院した。

町立三国病院建設計画審議委員会や町議会三国病院建設問題調査特別委員会で検討された。

収支状況は、減価償却費を除くと黒字、繰延勘定償却も含めた純損益は赤字だが、経営形態は、現状のままとする。産婦人科は、合併後の市内出生児の半数となっている。病院あり方検討委員会からの提言をうけ、病院改革プランの実行にも取り組んでいる。以上、地域医療の存続のための病院新築、医師等の確保や指定管理者制度の導入など、数多くの課題の解決に参考となるものであった。

自治功労町村 議会議員表彰

4月12日、石川県町村議会
議長会の定期総会が金沢
市において開催され、席上、
自治功労町村議会議員の表
彰と表彰状伝達式が行われ
ました。
本町からの受賞者は次の
とおりです。

全国町村議会議長会 表彰

○15年以上在職者表彰

- 金田 之治
- 北本 俊一
- 守田 幸則
- 中川 信夫 (元議員)

○特別表彰

- 金田 之治

町議会日誌 1月～3月

〔1月〕

- 5日 町議会臨時会
- 7日 新年互例会
- 8日 消防団出初め式
- 9日 成人式
- 13日 議会運営委員会
- 14日 能登地区町議会連絡会
- 17日 広報編集特別委員会
- 19日 議会運営委員会
- 21日 町議会臨時会
- 22日 「住民主導型ふるさと振興事業」経過発表会
- 24日 郡市広域圏議会臨時会
- 25日 例月出納検査
- 26日 県町村議会議長会臨時総会
- 29日 病院運営特別委員会
- 29日 町体育協会功労者・優秀選手表彰式

〔2月〕

- 1日 立志式
- 2日～3日 中学校建設特別委員会
- 4日 町視察
- 4日 町廃棄物減量等推進審議会
- 7日～8日 常任委員会視察
- 13日 所司原くさぎ祭り
- 14日 議会運営委員会
- 15日 郡市町村消防賞じゅつ金組合議会
- 16日 郡市町村消防団員等公務災害補償等組合議会
- 18日 自衛隊入隊入校予定者激励会
- 18日 県監査委員協議会理事会・総会・研修会
- 19日 町議会全員協議会
- 19日 元祖・オムライス誕生秘話談義
- 21日 郡市広域圏議会定例会

〔3月〕

- 3日 宝達高校卒業式
- 3日 議会運営委員会
- 4日 町議会定例会
- 7日 教育厚生常任委員会
- 8日 病院運営特別委員会
- 9日 総務産業建設常任委員会
- 11日 中学校卒業式
- 11日 議会運営委員会
- 11日 町議会定例会
- 23日 石川県北部RDF組合議会定例会
- 24日 郡市広域圏議会定例会
- 25日 例月出納検査
- 25日 千里浜海岸保全・利活用推進協議会総会・基調講演会

- 12日 北陸宝達志水少年サッカー大会開会式・記念式典
- 14日 相見保育所落成式
- 15日～16日 病院運営特別委員会視察
- 17日 朝ごはん運動推進本部
- 18日 小学校卒業式
- 19日 保育所修了式
- 23日 北部保育所閉所式
- 23日 町土地開発公社理事会
- 24日 渚会理事会
- 25日 例月出納検査
- 25日 県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 28日 県町村議会議長会議長協議会
- 28日 県町村議会議員公務災害補償組合議会



広報編集特別委員会

- 委員長 津田 勤
- 副委員長 中谷 浩之
- 委員 北 信幸
- 委員 宮本 満